

# 弘経寺だより

発行所

寿亀山弘経寺

〒303-0041

常総市豊町甲1

Tel.0297-24-0895



室内開山上人像・御位牌

## 開山忌に想う

飯沼弘経寺主管 金田大祐

当山、寿亀山弘経寺は一四一四年嘆  
 譽了肇上人により開山された。飯沼弘  
 経寺が開山された後、取手市の大鹿山  
 弘経寺も同じ嘆譽了肇上人により創  
 建された。私は取手の弘経寺の出身で  
 号あるが、言ってみれば、飯沼弘経寺は  
 取手弘経寺の兄のような存在である。

私の祖父は東京の生まれで、当時家  
 が大変貧しかったので祖父は小僧と  
 して寺にあずけられた。その後、祖父  
 は少年時代、青年時代に苦学して仏教  
 を学び、また、鎌倉の光明寺等で修行  
 をして、僧侶としての道を歩み続けた。  
 縁あって取手の弘経寺に住職として  
 入山し、布教活動に専念した。

私の父は次男坊だったので、取手弘  
 経寺を継がずに作陶の道を選んだ。窯  
 を取手弘経寺の近くに築いたので、私  
 は父の土練りをする姿を見ながら、そ  
 の一方でお寺という環境の中で僧侶  
 である祖父の薫陶も受けながら育つ  
 た。私が浄土宗の僧侶となったのはこ  
 の祖父の影響が大きい。

昨年の秋、私はここ飯沼弘経寺に赴  
 任したのだが、取手の弘経寺で過ごし  
 た三十余年の後に、同じ開山上人が創  
 建した飯沼弘経寺に赴任することな  
 ど、夢にも思っていなかった。縁とは  
 本当に不思議なものである。しかし、  
 この縁は私にとってただの縁ではな

い。弘経寺開山上人のお導き、祖父の  
 導きによって、ここ飯沼弘経寺に赴任  
 させていただいたと思えば、これは仏  
 様の縁、仏縁である。仏縁であればこ  
 そ、大切に育んで行きたいと思う。

六月四日(日)は開山忌。当山開山  
 嘆譽了肇上人を偲ぶ大切な法会であ  
 る。約六〇〇年前に嘆譽了肇上人が飯  
 沼と取手に弘経寺を開山しその法灯  
 が現在に至るまで脈々と受け継がれ  
 ていること、今私がここ飯沼弘経寺で  
 お寺の仕事をさせていただいている  
 こと、そして、この不思議とも必然と  
 も思える二つの「縁」によって今私が  
 生かされていることを、この「開山忌」  
 の季節に深く考えてみようと思う。

## 開山忌

当山恒例の開山忌を左記により厳  
 修いたします。

本年度は本堂改修工事のため本  
 堂・開山堂が使用できません。従って、  
 従来の日程では二日間の開催となつ  
 ていましたが、本堂改修工事中は一日  
 に短縮させていただき、新書院にて開  
 山忌法要(日中法要)のみを厳修いた

します。

開山忌は今から約六〇〇年前に飯  
 沼弘経寺を開山された嘆譽了肇上人  
 の御威徳を偲ぶ大変大事な法会です。  
 是非ご参拝くださいますよう、ご案内  
 申し上げます。

記

日時 平成十八年 六月四日(日)

午後二時

場所 大本山増上寺別院 弘経寺

新書院

## はなまつり開催

去る四月九日(日)から十六日(日)ま  
 での八日間、ここ飯沼弘経寺にて「は  
 なまつり」が開催されました。

今年の夏に本堂の改修工事が予定  
 されているので、この美しく立派な本  
 堂を一人でも多くの方々に見ていた  
 だきたいと、金田主管の友人である取  
 手市在住の彫刻家や写真家、陶芸家、  
 そして飯沼弘経寺世話人の方々が中  
 心となって「はなまつり」を企画した  
 のが今年の正月のことでした。

それから三ヶ月あまりの間に、宗編

2006年5月  
流(茶道)の飯田宗藤先生とその御社  
中、琴演奏の牡丹会、和太鼓の下総之  
國鬼怒太鼓、市内在住の写真家の伊沢  
達也さん、フルート演奏者の鈴木祐子  
さん、作曲家の蓮沼万里さん、そして  
常総市の商工観光課、教育委員会、街  
づくりネットワークの方々が献身的  
にご支援ご協力をくださり、「はなま  
つり」が実現するに至りました。期間  
中(八日間)で約一万人の来場者を記  
録し、内容的にも規模的にも素晴らし  
いイベントになりました。

もちろんこの「はなまつり」は飯沼  
弘経寺のお檀家の皆様のご理解ご協  
力なしには実現することはありませ  
んでした。「新しい本堂に生まれ変わ  
る前の姿を永遠に参拝者の記憶の中  
に留めていただきたい」という願いを  
作家や演奏家、茶人、行政の方々と飯  
沼弘経寺のお檀家の方々が共有し、参  
加した全員が一丸となって協力した  
ことよって、このイベントは大成功  
のうちに幕を閉じたのでした。

準備から「はなまつり」期間の八日  
間までお手伝いをくださいましたお  
檀家の皆様、本当にありがとうございます  
号ました。「はなまつり」で皆さんと共  
第10号  
に培ったこの「勢い」をそのまま本堂

改修工事へとつなげて行きたいと思  
っています。今後ともご支援ご協力の  
ほど、よろしくお願い申し上げます。



弘経寺「はなまつり」彫刻作品の前で

### 座布団のご寄付

先月、取手市の大鹿山弘経寺より座  
布団を一〇〇枚ご寄付いただきました  
た。新本堂が落慶しましたら、使って  
いただきたいという温かいお心遣い  
です。大切に使用させていただきます  
と思います。取手弘経寺のご住職をはじ  
め、お檀家の皆様に心より感謝申し上  
げます。

### 清掃当番

今月(五月)の清掃当番は飯沼地区  
です。五月二十一日(日)午前八時より  
境内・書院等の掃除を行います。是非  
お手伝いくださいますよう、よろしく  
お願いいたします。



清掃作業風景

### お悔やみ

阿弥陀様の慈光の中、次の方が極  
楽へ往生されました。  
ご冥福をお祈り申し上げます。  
五月一日 飯沼幸枝殿 四十一歳

### 弘経寺本堂改修事業

#### 浄財勸募のお願い

すでに多くのお檀家の皆様・外護者  
の方々よりご協力をいただき、浄財勸  
募は順調に始動いたしました。事業成  
功のためには今後もお檀家の皆様  
のご協力が不可欠です。一層のお力添え  
をお願い申し上げます。

また、銅板瓦のご寄進も募っており  
ます。一枚につき三〇〇〇円です。よ  
ろしくお願い申し上げます。

郵便局 (ばるる)

口座番号 : 10640 38336591

口座名 : 弘経寺本堂建設委員会

常陽銀行水海道支店 (普通預金)

口座番号 : 1572346

口座名 : 宗教法人弘経寺

with  
gratitude

